**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　74・75　回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | シルバー小規模多機能ホーム | |
| 施設種類 | 小規模多機能型介護事業所 | |
| 開催日時 | 開催は中止　郵送にて報告書のみ | |
| 会場 | 上中町岡２２２－１　シルバー小規模多機能ホーム | |
| 参加者 | 利用者代表 | 人 |
| 利用者家族代表 | 人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | 人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 事業者 | ２人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | １．現状報告  ９月の利用者状況…新規登録…２名　緊急時の受け入れ…２名  （新規登録）   1. 要支援1の方が自宅に入浴できる環境が整っておらず、デイによる入浴サービスと、台風などの災害時に避難場所としての泊りの利用、通院などの移動支援を目的として複合的に利用開始しています。 2. 要支援１の方が同居されていた妻の長期入院により食事の支援が必要となったため、週２回の訪問にて利用開始しています。   （緊急時の受け入れ）  ９/１９より上陸する台風の被害を想定して、自宅での生活が心配される利用者２名を安全確保のため泊りの対応としました。  １０月の利用者状況…利用者の変動なし    課題の実施状況  　９月　　・身体観察について（社内研修）  　　　　　（体を守る）（思いを守る）（社会性を守る）  　　　　　・「なぜ、虐待はなくならないのか…？体制設備とリスクヘッジのかけ方」  　　　　　　Zoomによるオンライン研修　講師（鳥野　猛　氏）  　　　　　（政策的背景）（高齢者虐待事例のはしり…）  （なぜ虐待をしてしまうのか…）（高齢者虐待の定義）  （具体的な事例から、虐待がどうしてなくならないのか、考　えてみよう）  　１０月　・送迎について（社内研修）  　　　　　（送迎のポイント）（送迎のマナー）（事故事例の紹介）  　　　　　（運転チェック項目）（危険箇所を把握する）  　　　　　・外部評価に向けて（事業所自己評価と改善計画作成）  １．現状報告  １１月の利用者状況…新規登録…２名　入院…２名　退所…２名  （新規登録）   1. 要支援２の方のご家族が亡くなり独居生活を心配された親族からの要望があり、見守りや買い物支援と通院支援を目的としたサービスを開始しています。 2. デイサービスを利用中の要介護２の方が、多様性のあるサービスを利用するために、小規模へ移って来られた。   （入院）   1. 訪問サービスを利用中の方に発熱症状があり、医療機関にて肺炎の診断を受け１０日ほど入院となった。その後症状も改善され、以前の生活に戻られた。 2. 訪問サービスを利用中の方に発熱症状があり、医療機関にて尿路感染症と診断され２週間ほど入院となった。その後症状も改善され、以前の生活に戻られた。   　（退所）   1. 泊り利用中の方が１０月中ごろより徐々に食事摂取が難しくなる。通院しながら状態観察していたが、１１月初めに老衰のため逝去された。 2. 訪問サービスを利用中の方が、食事摂取が難しい状況が続き通院しながら状態観察していたが、１１月末に老衰のため逝去された。   コロナウイルス感染者報告（職員…３名　利用者…４名）   1. １１/２１（月）勤務後に発熱症状あり→翌日医療機関にて検査を行い、陽性が確認され７日間の待機期間となる。その後、感染経路は陽性者との濃厚接触による感染であったと判明する。 2. １１/２４（木）入浴介助にて濃厚接触者であった利用者１名発熱症状があり、その後検査にて陽性が判明し施設療養にて隔離対応となる。 3. １１/２７（日）感染中の利用者への対応にあたっていた職員に発熱症状が現れ検査の結果、陽性が確認される。 4. １１/２８（月）入浴介助にて濃厚接触者であった利用者１名発熱症状があり、検査の結果、陽性が確認され施設療養にて隔離対応となる。 5. １１/２８（月）濃厚接触ではなかったが職員１名に発熱症状があり、検査で陽性が確認される。 6. ⑦１１/３０（水）利用者２名に発熱症状があり、検査にて陽性が確認され施設療養にて隔離対応となった。感染経路は２番目に感染した利用者との接触ではないかと推測される。   （経過）…すべての感染のあった、利用者、職員ともに重症化することはなく、２～３日の発熱症状の後は徐々に改善されています。  １２月の利用者状況…新規登録…１名　入院…２名　退所…１名  （新規登録）   1. 要介護２の方で徘徊症状が強く常に見守りが必要な状況があり、本人の身体の安全の確保とご家族の介護疲れを軽減するために、泊りを中心とした利用を開始する。   （入院）   1. 泊りを利用中の方で入所当時より鬱症状があり、半年前より徐々に自傷行為などが頻繁に見受けられるようになってきた。何度か主治医とも相談し投薬による安定化をはかってきたが、徐々に症状が悪化し専門的な治療が必要となったため、入院となる。 2. 泊りを利用中の方が、食欲不振と胸苦症状があり検査の結果、腎後性腎不全と診断され、入院となる。   （退所）   1. 訪問サービスを利用中の方が、本人の希望により１２月末をもって契約中止となり、今後の支援はお世話センターの管轄に移った。   課題の実施状況  　１１月　　・排泄について（社内研修）  　　　　　（排泄介助手順）（なぜ水分摂取が必要なのか）  　　　　　（排尿・排便チェックはなぜ必要か）  　　　　　　・高齢者施設における集中的な「抗原検査」の実施（県からの依頼）  　　　　　（第８派に備える、戦略的な検査の実施）…１月末まで延長  　　　　　　中  　１２月　　・認知症の理解と対応（社内研修）  　　　　　（コミュニケーションのポイント）（認知症で困ったときの相談窓口）  　　　　　（認知症の方と家族への支援→在宅・施設・医療機関）  　　　　　　・消防訓練（社内実施）  　　　　　（心肺蘇生法とＡＥＤの使い方）（火災時の初期消火と非難手  順）  ２．主な行事  　　　９月＝（敬老の日）　　１０月＝（ハロウィン）  　　　１１月＝（施設内での感染があり中止）　１２月＝（クリスマス）  　　　※事業所内で実施しています。  ３．今後の課題  　　　　１月　　　倫理規定と法令遵守について（社内研修）  　　　　　　　　　外部評価  　　　　　　　　　５回目ワクチン接種（利用者・職員）  　　　　２月　　　感染症および食中毒について（社内研修）  今後の予定  １月＝（誕生会）　　２月＝（梅花見） |
|  |
| 議題 | コロナウイルス感染拡大の影響により、報告書のみ郵送にて対応 |
|  |
|  |